

平成 30 年 3 月 9 日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

一緒に楽しく学ぼう税（ぜい）！

### 鹿屋肝属法人会（鹿児島）

<活動対象> 小中学生

<活動の概要>

- ・行政や地域商店街等の協力を頂きながら「鹿屋市秋祭り歩行者天国」においてイベント開催。テーマは「遊びながら、税を通じた家族の会話」。
- ・「消費税の使い道を子供達に託してみよう税（ぜい）」  
税金クイズに正解するとゲームに参加できる100円コインと本物の1円玉を8枚渡す。その8円を、税金の使い方が記されたボックスに自由に入れてもらう。子供たちに「税の使い方」について真剣に考えてもらう機会を提供。

<参考資料>

租税教育活動 ～活動内容関連資料～

<摘要>

特になし

<出典>

平成 28 年度租税教育活動プレゼンテーション（北海道大会）より

全て無くなるという盛況ぶりでした。お父さん・お母さんと一緒に参加する子、友達といっしょに参加する子、必死に走り回る子供達の笑い声が絶えないイベントとなりました。



次に、子供たちの「目線や考えで」税の使い道を決めるとしたら・・・

### 【消費税の使い道をお子たちに託してみよう税（ぜい）】

「警察署は税金で出来ている」「救急車を呼ぶと有料の国は日本である」などといった問題を○×で解き、正解すると縁日ゲームに参加できる100円コインと本物の1円玉8枚を貰えます。その8円を、税金の使い方が記された4つの税金ボックスに自由にに入れてもらうというものです。

- ① 道路や橋を作り、自分たちの街をきれいにしてほしい【公共事業】
- ② おじいちゃん、おばあちゃんが安心して暮らせるようにしてほしい【医療・福祉】
- ③ 学校や保育園、幼稚園をたくさん増やしてほしい【子育て支援】
- ④ 病院をたくさん作り、病気で苦しむ人を助けてほしい【医療・福祉】



【社会福祉】



【公共事業】



【医療 / 福祉】



【子育て支援】



結果は以下のような順番になりました。やはり、子供たちからすると身近で遊んでくれるおじいちゃん、おばあちゃんが好きって事なのかもしれません。

計算すると**総数 818 名の子供たちの参加**を頂いた事になります。**親や友達と話し合っ**て決める子供たち、**悩んでなかなか決めきれない子供たち、予想以上に真剣に「税の使い方」を考**える**子供達の姿**には驚かされました。

- |    |  |                         |         |
|----|--|-------------------------|---------|
| 1位 |   | おじいちゃん、おばあちゃんが安心して暮らせる  | 1,810 枚 |
| 2位 |   | 自分たちの街をきれいに             | 1,710 枚 |
| 3位 |   | 病院をたくさん作り病気で苦しむ人を助けてほしい | 1,705 枚 |
| 4位 |  | 学校や保育園、幼稚園をたくさん増やしてほしい  | 1,325 枚 |

更に、ご当地キャラクター「薩摩剣士隼人」による「税金が無くなったらどうなるの」のオリジナルショーを開催しました。

消費税が足りず、お肉が買えなかったことに腹を立てた敵キャラがこの世から税金制度を無くすも、隼人に諭され、税金の大切さを学んでいくというものです。たくさんの子供たちが目を輝かせながら、笑顔でショーを楽しんでいました。



また後日、薩摩剣士隼人の地元ロケで作成した**租税教育DVDを2市4町、48校全ての小学校に配布**し、その活動は後日「南日本新聞」に記事として取り上げられました。

